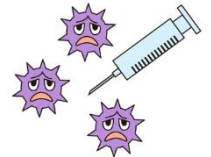




10月に入り、先日は運動会が開催された園も多かったことではないでしょうか？秋は寒暖差が激しく、行事などで疲れが出やすい時期。しかし、お出かけなども楽しくなる季節ですね♪体調管理に十分気をつけ、楽しく秋を過ごせると良いですね。

インフルエンザワクチンについて

早くも先月からインフルエンザの流行が始まっているようで、中学校では学級閉鎖になる場所も出たと報道されていました。もみのき病院でも数名インフルエンザの患者さんが報告され、もみくんちにも問い合わせが数件ありました。



インフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではありませんが、ある程度の発病を阻止する効果があり、また、たとえかかっても症状が重くなることを阻止する効果があります。

接種して2週間後から血中の抗体の量が増え始め、4週でピークに達し、3～5カ月後から低下しますが、ウイルスが侵入してくると免疫系が反応して抗体の量はまた増えるため、ワクチンの効果はもっと長く続く可能性もあります。例年、季節性インフルエンザが流行するのは12月下旬～3月ごろですので、11月下旬～12月上旬には予防接種を受けておくのが望ましいでしょう。

<13歳未満で2回接種受ける場合のおすすめ時期>

また、乳児～13歳未満の方は、1回では抗体がつかない場合があるので、2回の接種が必要です。1回目の後は、2～4週間あけて2回目の予防接種が受けられます。インフルエンザの流行時期を考えると、1回目の接種は10月～11月頃が望ましいでしょう。



しかし、乳幼児をインフルエンザウイルスの感染から守るためにはワクチン接種に加え、家族や周囲の大人たちが手洗いや咳エチケットを徹底することや、流行時期は人が多く集まる場所に行かないようにするなど工夫も大切です。また、規則正しい生活やバランスのよい食事、運動、こまめな水分補給も大切になってきます。家庭や園での集団生活の中で気をつけるようにしていきたいですね。

アデノウイルスがまだまだ流行しています！

プールの時期が終わって1ヶ月以上経ちますが、いまだにアデノウイルス感染症（咽頭結膜熱（プール熱）や流行性角結膜炎）が流行しているようです。感染力が強いため、症状が治まり、2日以上経過しないと登園できない感染症となります。接触や飛沫で感染し、目脂などの分泌物を介して人に感染します。



こまめな手洗いやアデノウイルスに有効な次亜塩素酸ナトリウムでの消毒、タオルの共用はしないなどの対策を心がけましょう。

病児・病後児保育事業所 もみくんち

〒780-0945 高知市本宮町101-1 デイビィセンターこだま2階

TEL(088)849-2184

開設日：日・祝・年末年始除く 8:00～18:00

